

福岡県医発第1386号(地)

平成20年9月29日



各 医 師 会 長 殿

福岡県医師会

会長 横倉 義 武

(公 印 省 略)

社会保障カード（仮称）に関する厚生労働省の調査について

標題の件、既に実施されている調査であります。日本医師会より別添のとおり通知があり、本調査については協力しないとの判断がなされております。

これは、厚生労働省の「医療保険資格確認における社会保障カード（仮称）導入効果に関する調査」と題した調査が現在行われておりますが、日本医師会への連絡がなく実施されていることから、日本医師会ではこの事態を重く受け止め、厚生労働省に強く抗議しております。

つきましては、標記調査には協力しないとの判断がなされておりますので、貴会会員へのご周知方何卒よろしくお願い申し上げます。

なお、既に調査が実施されており、対象施設も把握できていないことから、事後対応となりますが、事情ご賢察の上、宜しくお取り計らいくださいますようお願い申し上げます。

小郡三井医師会より

地域保健担当理事 名取一幸
地域保健副担当理事 毛利康茂
会長 丸山 泉

(広情 18)

平成 20 年 9 月 18 日

都道府県医師会
情報システム担当理事 殿

日本医師会
常任理事 中川 俊男

社会保障カード（仮称）に関する厚生労働省の調査について

標記の件につきまして、厚生労働省で「医療保険資格確認における社会保障カード（仮称）導入効果に関する調査」と題した調査を行っていることが判明いたしました。

対象は全国の保険医療機関のうち、無作為抽出された 4,900 病院（抽出率 50%）、4,400 診療所（同 5%）、2,800 歯科診療所、2,100 薬局で、（株）野村総合研究所が調査の受託会社となっております。

現在、本会では「社会保障カード（仮称）」については、「社会保障カード（仮称）の在り方に関する検討会」等において、「光と影」の「影」の部分、すなわちメリットだけでなくデメリットについて十分検討し、慎重な対応をすることを求めている段階です。また、国民・患者の望まない管理医療やプライバシーの侵害に対する懸念も表明し、医療現場に大きな混乱をもたらすことは容認できないとの主張もしており、今後も引き続き検討会等の場において、これらの意見を表明して行く予定であります。

このような中、当該調査は検討会に諮られることもなく実施され、また、会員の先生方が対象者に含まれるにも係わらず、本会に事前連絡もなく行われているものであります。更に、当該検討会において何ら結論や確定した事項はないにも係わらず、添付されている資料は、あたかも「社会保障カード（仮称）」がそのまま導入されるかのような誤解を招く恐れもあります。

本会では、この事態を重く受け止め、厚生労働省に強く抗議いたします。

併せて、一連の経緯に鑑み、今回実施されている調査に関しては、日本医師会としては協力をしないという判断をいたしましたので、会員の先生方にもその旨ご周知いただきたくお願いいたします。